

清用方回記

慶長
一延享
明曆

全

182
1

富山大学
菊池文書

474

目錄

一 彩冥其幸聖年他々在室并那方一本苗之
林以爲一丁上其後三年印弱

一 十能定化會年

一 所淺山鈔年高上り年ハ銀子高上り也

一 他會佛貸交ハ年利是也一丁上高也

一 他會花番ハ年債數ニ應ニ百好也之也

一 高上佛上ハ其後年ハ高上り也

一 三島佛領域ハ其

一 万石三年佛築用場佛勅向 此亦如之類也

一 百姓辰屋交わし廿年を梅伐立り候 云候は作

斗り候節

一 他倉米割封仕振し交

一 寺より百姓位年貢小物成不足し方共道行極

一 百姓分限不庭借物方より左寺より出り口あり

増他答米滞り候節

一 移地之節も所方より 此亦并一歩前位振し交

一 用外普請之儀米外所不毛十村一之節能候

一 付交一村切 佛石物止山付候先者邊に或も方し候

佛成務り候節

一 佛柱拈高之趣申上り米諸給(並に)候節

一 明曆二年佛石物取戻り候

一 佛花下米斗花にお船場迄運送り百姓申渡候

世に

作おし候節

一 寺上り交者他に梅一百姓申候中候事候見立り候節

可作付候

一 上免り候事より百姓に申上り先此候改他方有

録したる事之次第をたぬ事之在上下

一 田地甚る盤割り地之事

一 妻某種去幸し他人半外に死交死に也事半上

一 佛領心佛真札事之事

一 百姓の上の銀子定し月々幾と利息を月々取

一 二月月目より利息に下はし之

一 錢を賣たり極平銀拾五と出臨に居り之化

一 妻お礼のわくは隔り百姓の死候後細事約似也

一 是月用ひる事之事

一 在りお本依り之事

一 寺に給事道造り不用死人者之節之月川越へ是

一 不用火車不用割符方之事

一 寺に山賃借之事

一 市利村市助お寺に十村に原付り由年并り拵指方事

一 事

一 寺に山甲納所大判云上細之事

一 寺に山他食茶死所之事

一 佛見之接地之書

一 化驗有豆花見分方乃在源後より

一 按地番留打方乃方佛第用湯合と改流より

一 松指の苗出大用と云我より一より伐取の苗也甲加

毎の年より

一 佛經方の花宿伊坊系定本取の苗取手取佛

縮方より与備

一 高打并按地より是より

一 用本普清川原提彼取より

一 加賀取の河川取然少取の麻屋取の苗取り取の苗後

一 高石小判或両宛抄隠金と取手取

一 七本より粟掛より伐取の取手取

一 田地割り節同免の取案古宮より取手取

一 用本普清の豆取より

一 鐵中佛取他地より

一 明曆元年より上取より

一 芥谷跡用本山田取用本上取用本取手取

一 言上地言取并は給取の係りより御地より村言

取并村取

一 任勅令傳付由原初行 未盡也

一 壹向川筑立并能為原初行別行

一 裁申上西本村上佛供平立行

一 五十里村佛事員由山出味此之字逐通三年分

一 田之形由(1)1000-1000

一 田之形由(2)1000-1000

一 田之形由(3)1000-1000

一 田之形由(4)1000-1000

貴

一 新開之平羽之(1)1000-1000

收納の(1)1000-1000

一 何方より山并野方(1)1000-1000

林(1)1000-1000

林(1)1000-1000

一 実業部 作集百程版(1)1000-1000

百姓務多 常採下保大車部年行
精采之任事

以上

萬治三年十月音 御筆用端

津國古年厚

今歲老老厚

十組定保食年高

三善方八或拾名六非

内

甲子言三指九石年

甲子言三指九石年

甲子言三指九石年

甲子言三指九石年

甲子言三指九石年

三彦組

苗加組

大馬組

性生組

今盛出組

子音 括九石 九石

中田組

子音 九石 九石

内湯組

子音 括九石 九石

大徳組

子音 括九石

祖山組

子音 括九石

十和組

Y

子音 括九石

一 聖溪山 湯治 湯治 湯治 湯治 湯治 湯治 湯治 湯治 湯治

上 子 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

一 聖 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

一 聖 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯 湯

おしあふのこ思ふ方

上様右給事と書指仕て侍候百程中

上様上何事も御指し成事お候下仕

方二月十日存候内指候は作候

一越中 御膳部 村部 新川部 掃部部

知行高五拾万石

天正三年月
殿様御成

一加賀 能登部 石川部 河部 江沼部

知行高五拾万二千五百石

一能登 羽咋部 麻績部 鳳至部 珠洲部

知行高二拾万二千五百石

是田有刻每自新夕のちお結帳のりといふ
は新田無用無刻出方無事

一 徳成友無用結刻をいふ物成り下り合ふ事
定事

一 又立役地乞中をいふ波お後早速に結事
いふ言ひ先之立役物成り徳成といふ無用結
中お成代友ら申付事

一 徳成友定結り波お後討言因申夫乃言書中
少とお成り

一 納取申事亦先金浪定之月と結し事
加利定て之立役の京老と義者別事
又波お成り百姓に情多御事之為上事

一 与知分結申は無事立宗石川河津社事
其事お成り無事お神村に結事
奥事申事代友申付る波收納事

一 正持持方御事立宗石川河津社事

七年

一 河津府松月曾臣、百目付、河津迄、百目曾

朝日、八月、七日、事

一 河津区、下、年、百、年、事、其、路、下、之、收、地、所、死、去、人、事、其、路、迄、百、月、曾、百、果、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

七年

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

一 河津迄、年、百、年、百、年、河、代、年、下、百、年、人、路、人、事、事

如字之符交之者事

一正收納所置年之令其馬信乃者下子

一少善用上言以對之亦指委神有乃受以

法事一上言初中後發達有仕る勢之深成

為中村のにお入の對馬云善因信氏於

方之り也事

一用不令之共也其月信之末乃發以附用不扣

附之り也事之り也

右 傳者之月にお達有乃受也

乃信氏之り也

四下

之收氏於

津田之善

奥村因信

若田對馬

金澤此是用標

今其乃也中福正屋店乃發之并因留之也

植堂行本後所之儀其指... 可禮儀... 身之法但失其成事... 戊刻... 丙以舟方百... 丁年... 乙...

子... 乙...

乙...

武... 乙...

子... 乙...

津... 乙...

金... 乙...

板... 乙...

山... 乙...

津... 乙...

石... 乙...

子... 乙...

右... 乙...

右... 乙...

乙... 乙...

乙...

乙...

全長七丈

利波形

中形

氷刃片

十廿年

先年此形係河川切草村切之草と云定儀
年所信定儀亦云云此後中河川又ハ此
有之付之草と云定儀亦河川切草村切之
一城之草と云定儀亦河川切草村切之草と云
一合之草と云定儀亦河川切草村切之草と云
亦亦の上と云定儀亦河川切草村切之草と云

一河川此草と云定儀亦河川切草村切之草と云
一合之草と云定儀亦河川切草村切之草と云
亦亦の上と云定儀亦河川切草村切之草と云

一河川此草と云定儀亦河川切草村切之草と云
一合之草と云定儀亦河川切草村切之草と云
亦亦の上と云定儀亦河川切草村切之草と云

と云ふは増徳令宗成入下事

一 西段他宗作付後川と云ふは有徳有るもの
十村をいれ地をいふは持刀仕官令と有るもの
息は徳令宗成入下事門と有徳有るもの
此の事成入下事

一 河内宗成入下事と云ふは南作宗成入下事
と云ふ別入成徳有るもの宗成入下事
此の事成入下事

一 河内宗成入下事と云ふは百姓田地に種有るもの別百姓
と云ふは有るもの宗成入下事と云ふは有るもの
南百姓と云ふは有るもの宗成入下事と云ふは有るもの
无上先百姓令に有るもの宗成入下事と云ふは有るもの
其の宗成入下事自然と云ふもの宗成入下事と云ふは有るもの
有るもの宗成入下事と云ふは有るもの宗成入下事

宗成入下事と云ふは 宗成入下事と云ふは

宗成

一 拾白三の徳入成り十村と云ふは中成りと云ふは

一 總合村

右寺の百程迄奉りて年々少くも物言ひを兼ね
年迄くわぬ女割符をわぬ程に相極め也

寛文五年辰丑月日 所存之由

右寺の御書後迄お極め天徳人の寺の御書
十村の御書に弱く信人無事事しと云ふ事
十村の御書と云ふ村の御書と云ふ事
左にら合村の御書

一 百程多程との趣借の物有るに云ふに
内村坊人の御書と云ふ村の御書と云ふ事
左に村の御書と云ふ事

天和三年三月十日

一 用水深草の一分は橋原但江橋と云ふ隙中
りて奉事

一 百程多程の御書と云ふ唐竹藪の御書と云ふ事

細谷村

右より百程の年より年々少く為りぬる事あり候
事ありと云ふに、
軍中より女割符ありぬる事あり候也

天和三年
文五年辰丑月日 所存

右より百程の年より年々少く為りぬる事あり候
事ありと云ふに、
軍中より女割符ありぬる事あり候也
十村より十村の事あり候也
十村より十村の事あり候也
十村より十村の事あり候也

二百程の年より年々少く為りぬる事あり候
事ありと云ふに、
軍中より女割符ありぬる事あり候也
十村より十村の事あり候也
十村より十村の事あり候也

天和三年 丑月 日

一用水深平より一括保但し括ちしと云ふ陳尸
らあ事

二百程の年より年々少く為りぬる事あり候
事ありと云ふに、
軍中より女割符ありぬる事あり候也
十村より十村の事あり候也
十村より十村の事あり候也

塚墓不降子夏

一 幸橋茶本麻草 大宿留田也 事

一 幸祥寺書草 幸草 忍富志 正持持人 十村 哲也

洞 十村 信月 念 入 といふ 事

一 田代 信 双方 言 姓 物 之 洞 十村 信 月 念 入 といふ 事

一 持地 寺 物 持 之 洞 十村 信 月 念 入 といふ 事

一 礼 寺 礼 物 之 事 十村 信 月 念 入 といふ 事

礼 寺 礼 物 之 事 十村 信 月 念 入 といふ 事

右 寺 作 者 西 村 信 月 念 入 といふ 事

万 治 政 年 十 月 初 日

今 枝 氏 叙

津 田 吉 重 叙

奥 村 因 懐

前 田 對 吉

合波内美用端

1882 10/10
1882 10/10

先祖之遺書也

明治三年九月

一 世渡山階地之田を賣りて其分派子に上
りて其地を賣りて其分派子に上

一 在りて其分派子に上りて其分派子に上

一 年

一 用りて其分派子に上りて其分派子に上

一 下りて其分派子に上りて其分派子に上

一 上りて其分派子に上りて其分派子に上

一 合波内美用端

一 合波内美用端

一 合波内美用端

一 合波内美用端

一 合波内美用端

一 合波内美用端

十月

一而持持言之意中子上年法给人無之以下乃
其方之而相持之也 作前下 殆人何れもよき之を年
收物は

口合年

一應言持言之人給年俵數之直之百程中もよき

少の直 出言乃 上様今右給年とせと給

仕年代、法を解申 上様は河も乃水も

成事お法に在る一月土直 伊左内借持

作持

昭曆三年

八百拾の通

川西地方の通

内

二四拾七通

六月廿三日之西夜法を止

三三通

今新村即下有 所の上
中田即下有

三三通

少夜村即下持言 所の上
即下有

四通

刀利即村在成

拾五通

川西之村以有 即下お通言

五通

佐和即下有

去海 上麻生 去海 下伏石

去海 下麻生 去海 中分

去海 中村 去海 西屋上

去海 西保子 去海 东屋上

去海 庄屋割り 去海 柳畑

去海 中ノ条 去海 西草屋

去海 祖泉 去海 西草屋

去海 下麻生

八通 下麻生 西草屋

去海 吉久 去海 庄屋

去海 果村 去海 源次

去海 石代 去海 吉久

去海 小林 去海 西草屋

書留平

一八四

指通 先所平 西草屋 吉久 石代 小林 西草屋

市橋通 市橋通

砂橋通 川原 下麻生 西草屋

一六日百出松。在也。青村山下。其地作竹。在
越水。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

一西番入地。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

一子。上。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

一五月。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

一而。其地。在也。其地。在也。其地。在也。其地。在也。

改地初

大正四年志村町... 地方官署用備... 作備

多

一田代其名聲... 割仕... 地... 長... 高... 石... 倉... 倉... 倉...

大正五年志村町... 地方官署用備... 作備

た... 事...

家文土筆... 日記...

昔

一夫... 事種... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

一山... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

但種代... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

大正... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

家文... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

田代村... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

志村町... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

志村町... 志村町... 他人... 死... 死... 死... 死...

古德打差

公方村

德安村

田村

橋村

井村

双地村

出利

山形

山形

高見 水見 下村 小坂新町

水田 今石部 中田 井波

陸生 檜場 魚津 东定規

清川 海山 沼所 入猪

守山 佐加登 舟見 三音市

三野

山形

能中各

不台 今濱 子浦 二宮 三宮

飯山 一宮 中尾町 但馬

神代 川尾 劍北 坂松 富本

伊予本

加賀合

金澤 本吉 宮腰 柏野

水塔 聖之市 杉白 露本

小松 高松 竹橋 津橋

本井 粟生 伊予本

外所 福光 石川 水橋 赤川

横山 坂松 大橋 羽根

徳本 野橋

1105

卷二

一 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
月 分 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
子 加 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上

一 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
成 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上

是 加 日 中 上 子 日 中 上

一 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上

右 子 日 中 上 子 日 中 上

水 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上
子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上 子 日 中 上

子 日 中 上 子 日 中 上
子 日 中 上 子 日 中 上

利 日 中 上 子 日 中 上

右所記物は終氏と一書物

定

一少台之義は御分下一統に決つたに在事
一淺き書之有極平沈指九分と玉座之義あり
一在付り所玉座の上は階之玉座同義あり
一淺分より分る事あり玉座之義より分拾九分
取らざる事

右所記之通如此と申すに依て

一 必^印通^印四年三月方 小懐三月

一 高野對言

一 高野因懐

一 浮向云事

源氏物語中村

十村高野堂之書

右所記下下所記之の所分高野堂之書宣正月廿九日

藤原公方及近古十代に傳下りて來り

見

一糸孔結事 汗漣之類也 越前守社山依結衣
結未束方結如くして仕事

一町人舞之類 糸の紐澤ありて杖持人向後口等
結るなり

二白屋町人之衣 扱仿紳事 綿麻布以て月を

糸分作妻に是て是用之事

一帯之類 糸右月也 但得お氣附りて針目

之甚事

一越前守女之類 二布事 綿可者之者 同糸孔

以上

今右位 一上義内定書ありて仕る 山田守

兼御願申すお弱き交お守り候字後
作書別 公義申書おし官者より所人
官の権力刀の義并衣類おる下女より
衣被は又糸礼法事おし義の如く所望事
之通に相違おる候所願申すお守り候
し書きたる御下

一所願の百姓衣類は位前より申す迄用事

布之亦若用仕る事は但し村并に持持人より
と男女を他にお免許しより力にお申す
方是又急なる中候所請は右に候者
書付ての上にお出候

天和三年二月廿九日

前田村吉屋

前田村吉屋

前田佐渡

天和三

前圖

本國史記

高田治善及

山崎友典及

從正史記... 加藤舟口... 今方... 山崎友典... 高田治善...

定重... 山崎... 高田... 舟口... 友典... 治善...

二月一日

山崎友典

高田治善

一 二つ傷の以て有しと何處よりかたは
 二 傷手と云ふは此より又家中と云ふ
 親と云ふは此より但し夜中（若親と
 一 針し中しと云ふ各別と云ふ
 一 石矢の傷は此條
 一 傷
 一 武家と云ふは及木柄と云ふ
 一 傷

在りては其後と云ふ

一 二つ傷在りの持言し角子先足身親
 一 手方お針と云ふは分五別家仕所と云ふ
 一 此若別家と云ふは中三つは法後月持仕
 一 以後も其後と云ふは但し中三つは
 一 中後と云ふは此後と云ふは
 一 此村は先別家と云ふは

一國を愛し内を治り遠近有る事并家一統し
内ヲかこみ外に口を立方なり居ヤ若し

右同

一志氣は徳をとり持言居村兼他郡分中若し
事

一言に意は徳を任事但お對ら宜有と存る事
のあふ事保と言ひ任する月9新百理分

一棟あらしりしきとあ事ヤそのふを九役三の
は言ふことし是も若し中役と成但持言と柱石
を持中とをてあ事なり

一わらも言ふた居宅仕別家が在成事

一居宅を二作の事

一言を新居宅仕在方事

一別別居宅居宅事

一 山後寺の境内にありて、子孫の身は、
一 中ノ別家、仕立、
の回奉

此書は、
持来して、
亦平まむと、

一 馬持の願振し書

右回奉

一 馬持の願振し書

布金高、

一 以て、

此書は、
此書は、

一 百姓、

此書は、

一地之各之事

乃振回事

以上

慶安三〇日

伊豆安場

丁持之先

一村之各之事
并之各之事
乃持之先
乃持之先
乃持之先

一乞之各之事

乃持之先

一住還乃造之事

一願乃住還乃根之事

住事

一願乃死人之事

一川越之各之事

劉存之任事

右之條之正德四年六月也及此等官職之宗
石川河部之振領合之劉存之任事之條

弟

一 中山侯信之任事之元年古也初松田宗規

之成侯信之任事之條也

一 同十年七月也 所代之成室の内定も判

方相極百程町及方之條也上之要其用條也

与相極也

一 市利村市利天正十三年也十村役之條也

年役之西上松尾村之役也

一 安永四年中山十村役之條也

治村源之條也

一 臺黃石園

與十村接納

但乏人 七石石積園宛

先年八中山惣家叔七石石積園宛一石一
寺處宛七石石積園宛先年宛永三年宛是
山月石積園宛每石先年及仔是月搭及内
相積與宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
一 寺山石積園宛全佳告大判宛宛宛宛宛大判拂

庭、石積園宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
判重後三年宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛

宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛

Digitalized by eGangotri

一 今中山の石積園宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛
宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛宛

調子は上利聖言村に合井岐を以て
方し若井岐の音石納木は合井岐の上利
給事より其の音石納木を以て合井岐
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利

合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利
合井岐の音石納木を以て合井岐の上利

八月廿九日

福尾 形勢

田中 定義

井岐

加三浦 及

右段田之加算之率是性有以是時
多分并區地合納り中らむ之なり

〇見之推地之書

右段田之加算之率是性有以是時

一上田田方丈 以和米七合

一中田田方丈 以和米七合

一上田田方丈 以和米七合

一上田田方丈

以和米七合

以和米七合

一上田田方丈 以和米七合

一上田田方丈 以和米七合

一上田田方丈 以和米七合

今し松子村の... 高野... 中... 及
一見... 越... 中... 及
百... 借... 中... 及
百... 借... 中... 及
又他村... 及

一贈... 任... 精... 及
他村... 及
下... 及
一... 及
子... 及

一... 及
一... 及
一... 及

一 此部中より其部より十村に接する者あり

一 此部中より其部より十村に接する者あり

一 右に接する十村あり其部より其部より

一 此部中より其部より其部より

甲九月十日

改他部

旧接する

十村中

之

一 此部中より其部より其部より其部より

一 此部中より其部より其部より其部より

一 此部中より其部より其部より其部より

一 此部中より其部より其部より其部より

一 此部中より其部より其部より其部より

一 此部中より其部より其部より其部より

平し是山麓之海幸其年川中安志其成有
為事

一 他入之角も他毛無愛種田地之之産定
前極筆より来し内お對之用控仕しもの
有し此も只愛お他人之手前一統用控
三有愛之る云々此より方是以田地主よりお對
事

右之田地之令之控田地主より一村お他人
一村并山下口所持持人お合帳子字坐手控
而姓建或之改帳之令愛又許之仕方當年
之愛ハ一村之もとり已け他毛言下有之
其り人お身之許自取内取付者ら之令之他
内之も何角中々方愛之者有し此之其許
今方一村所持持人お身之許之仕方之者

中入之形成、おのてい、
其刻、信指、是、有、其、
以、十、村、口、接、持、入、
下、の、越、え、り、上、

中三有

以、指、持、入、

一、向、後、川、の、流、を、
上、の、流、に、合、せ、
り、近、く、上、の、流、に、
合、せ、り、

一、地、は、恒、に、
和、平、曲、を、
流、判、飛、を、
地、は、恒、に、
中、事、

一、據、地、
右、の、流、
右、の、流、

不地と云ふは、人々の言ふ如く、則ち人々の言ふ如く、
一、熊野年々此の地を以て其の神の田畠と爲す神の
たすけの事なり

附子と云ふは、古くは熊野成りては、其の地を以て、
并、畠田と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、
一、神の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、
一、熊野の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、

一、熊野の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、
一、熊野の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、
一、熊野の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、
一、熊野の地と云ふは、其の地を以て、其の地を以て、

午十月廿日
所是開端
之標地也

石之海山其用物之西半部、糸向後四接地
之下村、山之西半部、後半部、通接、世、世、改、更
書、二、百、年、之、始、末、了、以、獨、特、之、見、也、吾、中、
波、判、輕、時、分、先、之、以、是、是、之、二、三、百、年、之、後、接、
西、半、部、用、物、之、上、半、部、了、也、

嘉慶元年十月廿

中村海之清

北見隆之清

川西而接抄十村名并

村園之在為
板江傳之房
馬園市在
右備理在
白井海在
新川七之在
國前海在

覺

一 檢地 永代と高檢并方切と云ふ事別るべし
入念の定無拂と云ふ事以後年々事取れ
と各之個法且又手村の百程細事と云ふ事
あり依り之村の檢地と云ふ田畠も亦此
由他村の檢地并檢中江乃亦細事と云
此等事味以後紛交事檢入念の上と云

願也 是故檢地之者事

附保事と云ふ事あり用ありと云ふ事

願也

一 繩法 往檢曲入と云ふ事外能くと云ふ事
繩法往檢と云ふ事檢地有と云ふ事
一 竿 願也 往檢竿と云ふ事
願也 往檢竿と云ふ事

扱連遠方之事と云々半葉筋の遠方極
ていざり

一 右中各々我半と云々
一 左半一先付は云々半一と云々
一 右半も是極と云々半一と云々
一 左半極と云々半一と云々
一 遠方極と云々半一と云々

附係不或十乃以捨る繩る扱地と云々
有はは云々一四半を云々上繩のびと云々
若ら云々一四半用と云々但係と云々半一と云々
一 扱る云々一四半用と云々但係と云々半一と云々
扱と云々一四半用と云々但係と云々半一と云々

一 扱と云々一四半用と云々但係と云々半一と云々

一 汗孔蒙想公既言雖之月言もてり合言或免
勿論之組子村但も合多計世傳者代も
三 能也具又も食留行傳人々言所持所
各二 而も言也言半月日教也也之任候言
沙事

一 野帳之義向後地方之者申合言た也百
也也付子母を付漢食於百程と也

一 義言之候之入念事

一 高形之屋身先も不極通之傳其之極初也
事之極子土月也也考也候抄之也仕言
十也先深者も人々言も言也極也

一 也性付之義も村百程之月之也付也村
百程程十程之也之也程之也其也也
付之也也言及之也極之也成持地之也保内也

去水敷の内拾地カ職言カクおんじり何しを
仕積る有しなり中成百姓カ礼物ヲ奉ル族カ有
ク候云油沽ナリ有百姓ノ外お地付ニ在
也故ニ中付年

一之ニ平年ノ皇位所百姓カ案ノ礼
物ト又又拾地勅時ノ本物カ案カ杯
振置カ案ノ也ノ池カ是清中候云河也有

一之右ノ水ノ及ノ湯者ノ案カ案ノ也
乞カ清候急カ案ノ也ノ向後根ノ也
有しカ案ノ知カ案ノ也カ案ノ也
有カ案ノ也カ案ノ也カ案ノ也

一各據地村ノ案ノ刻カ案ノ案ノ案ノ不
案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ
案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ
案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ案ノ

其外何事も扱事極つて其の年八下
つて新交編五巻採扱し并木桶を洗す
一 新交ヲ扱ヤ極つて其の年又賄方と扱酒者
此れ其の五巻に其の極つて其の年因茲扱地
扱地彼之入用取つて其の年村中割并極
此れ其の五巻に其の極つて其の年其の極つて
除く其の年其の極つて其の年其の極つて

交つて其の極つて其の年

右の如く其の極つて其の年其の極つて其の年
其の極つて其の極つて其の年其の極つて其の年
大分其の極つて其の極つて其の年其の極つて其の年
一 其の極つて其の極つて其の年其の極つて其の年
其の極つて其の極つて其の年其の極つて其の年

其の極つて其の極つて其の年其の極つて其の年

持地西条郡

一新開地有、刻用ありは山有、往く
園之成らるる、之れを留し、後、下り、新築所
後、至る、自ら、田成、後、下り、下り、仁方
とも、新築所、結、下り、

一新開地、下り、年、下り、持地有、下り、田、留

医法、下り、也、仁、至、下り、脇、至、至、下り、下り、下り、
下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、
下り、

一新開地、下り、刻、至、下り、田、成、下り、下り、川、下り、
留、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、
下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、
下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、下り、

二番敷をお互強ひたる者なり

一、舟村持地と刻物と、畠地と、舟橋村畠

ノ、高と、浩平と、長平と、或ハ川原山崎と、庄盛

不、又、回成、清平、一、石、陸、新、と、と、と、と、

高、浩平、と、一、但、法、要、り、ある、因、て、成、る、と、

不、畠、地、と、新、井、西、井、後、有、と、り、長、平、の、地、也

他、村、方、新、井、と、新、井、と、村、長、平、村、新、井、

陰、目、お、さ、し、と、平、年、一

舟、橋、村、方、長、平、と、一、と、一、村、と、舟、橋、村、の、長、平、

一、と、一、と、一、と、

一、持、地、乞、平、村、由、成、一、畠、持、地、と、舟、橋、村、

畠、と、持、地、と、仕、切、持、地、と、言、為、自、り、又、持、地、

仕、方、使、り、有、と、申、す、後、に、一、と、一、村、由、成、と、

一、と、一、と、一、と、

如上

元禄七年正月廿九日 乃是田場下

田場下田名

一田部中其田名或云云云云 田場下田名

十村中其田名或云云云云 田名或云云云云

一田部中其田名或云云云云 田名或云云云云

田部中其田名或云云云云 田名或云云云云

田部中其田名或云云云云 田名或云云云云

如上

元禄七年二月廿九日 乃是田場下

一田部下田名或云云云云 田名或云云云云

田部中其田名或云云云云 田名或云云云云

不_レ高_レ月控免_レ之_レ西_レ注_レ之_レ高_レ免_レ控_レ也_レ分
也_レ括_レ内_レ注_レ也_レ上

明曆元年九月廿日

川西

十村平

内括_レ内_レ注_レ也_レ

每括_レ内_レ注_レ也_レ

急_レ中_レ也_レ依_レ中_レ注_レ也_レ下_レ西_レ控_レ也_レ内_レ注_レ也_レ

く_レ中_レ注_レ也_レ定_レ之_レ角_レ控_レ中_レ也_レ之_レ公_レ義_レ我_レ也
桂_レ苗_レ之_レ市_レ角_レ也_レ是_レ用_レ場_レ之_レ也_レ山_レ也_レ形_レ也
下_レ注_レ也_レ中_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ
之_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ
也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ

万_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ

也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ

何_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ

每_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ注_レ也_レ

利波那村那那水之丘

新川郡

右也乃汝也之... 利波那村那那水之丘

一而此中姓因也... 利波那村那那水之丘

松板... 利波那村那那水之丘

手... 利波那村那那水之丘

... 利波那村那那水之丘

万... 利波那村那那水之丘

利波那村

利波那村

利波那村

津田右重友

金長友

一河内... 利波那村那那水之丘

本面經共持... 萬法華

五月廿五日 修持卷之六

河海十村中

河海十村中... 修持卷之六

修持卷之六... 河海十村中

元文子子子子

河海十村中

修持卷之六

河海十村中

荻野内史

右内史内形意者先何德未 官数也相
於不能得之于村来 号曰何故村人每至其
并亦在座而加品能列 以敬令庄所来之法
会亦在德方设之中亦在座就之海集 官
亦付与之不保德方一统三之神之行出
那之 德方亦在座论者之亦在座

亦列德会指毛已之座之来就人有之刻德也
之德于亦在德村人亦在就人之亦在德会
德是神亦在德德之德法会亦付与得之
十村号之乃德德之德也 以德村人之内也
与人就亦加之德亦在德德之德人之内也
之德加亦在德德之德也 德也之内也
就指之德也之德也

石之通海... 十村夫... 下格字

中平七月

藤田... 右馬

若建内... 右馬

源氏...

源氏... 中

右藤... 守格... 高年...

若... 守格... 高年...

守格... 高年... 守格...

守格... 高年...

守格... 高年...

守格... 高年...

守格... 高年...

首書

一山方ありて田七つあり但し自然ありきは六つあり

一田七箇ありと云ふ七つ分ありきなり

一たゞこのたゞきく田も平地く田も亦枯あり

お荒りしは是れ日重りありて自然程に年田と

しせ田成在現あり程と云ふは是れを云ふ

一西より中の田ありと云ふは西平陸中より西平入

りて成り

一是を村なる田ありは平字及十文字所平陸

りて成り

一畑村に原に接地今村縄より北迄形地仕在

りあり物部村より刻維田三百ありと云ふ

一高よりと云ふは百あり接地ありと云ふ接地

今しと云ふは田無きありと云ふは是れあり

抄本百巻地也言成

一 庄持抄入持地本其在如美抄得之律出る即
横目同事之なるを以て西島南物なる中位
抄本方種い言ふに南曲下今一子入る事(通)終し
此も庄持地本抄の事なり西平の抄に六
天字の抄ありて其抄有る一箇に女抄之類なる
あり

一 庄持地抄材版今言南島之抄入川東同事之
抄本ありて其抄本西平の律と抄と二冊ありて一冊
之類とありて此地西平の抄と西平の抄と
年分定むるに西平の律と但用ありて川
原の律とありて西平の律と西平の律と
此の義ありて西平の律と西平の律とありて
今し此の昔の國ありて其抄ありて其抄あり

高き成地ハ形を平率一去のDUBB
地ハ可なり此國ニ成る者之ハあり
りたりと云ふ事

神牛ノ歌

Langsa - MBRNto

石川ノ歌

Langsa - MBRto

神ヤ四部

Langsa - MBRto

神ノ歌

Langsa - MBRto

但し此ノ二部ハ
二部中ニ
あり

此ノ二部ハ
あり

一 徳島郡高松を越え舟ヲ二百里あり刻此の地を去る

高松を去る七

一 石川河を渡り高松を舟ヲ二百里あり刻此の地

を去る高松

一 徳中と徳島郡とを舟ヲ二百里あり刻此の地

はく徳中と徳島郡とを舟ヲ二百里あり刻此の地

舟ヲ二百里あり刻此の地

一 徳中と徳島郡とを舟ヲ二百里あり刻此の地

舟ヲ二百里あり刻此の地

舟ヲ二百里あり

一 徳島郡石川河を舟ヲ二百里あり刻此の地

舟ヲ二百里あり刻此の地

舟ヲ二百里あり刻此の地

舟

100 石 尺の丈

MEMORANDUM

100 石 尺の丈

MEMORANDUM

100 石 尺の丈

MEMORANDUM

平物也

一 御平紙品 尺の丈

一 加品 三寸の丈

一 之 祿八年用 乃 美 務 并 判 乃 川 際 堤 控

理 之 美 乃 紙 切 十 村 共 内 備 之 乃 以 備 仕 島 在

之 俵 付 乃 是 文 打 沼 乃 原 之 統 店 打 以 出 在

由 之 丸 貞 今 之 紙 切 之 俵 付 乃 一 角 末 減 少

法中乃所年安流之江在通前至通上在
乃其作後之通一那也之作其

一 元禄十三年加賀郡八河部郡能也郡之麻
物郡之向海書有亦もきり松とと在

一 宝永九年之旨石山判以每宛御除金
江戸公義分之任付同年 喜

般橋江戸上之山五部之方成十午年之幸

重之毎之之月如也之之

一 武内氏八貴之御傍九段下之生 御波那之組

一 乃貴之御傍之方下之生 日之山

一 乃貴之御傍之方下之生 日之山

一 西往甲之六月日庭抄山恒指也為事之其地

一 張同子乃貴之御傍之方下之生 御波那之組

一 亦揚之御傍之方下之生 御波那之組

一因地利之義之稱也年二月朔方之郡分或之
免而物之只也其是也之因也之新案以古語
抄之文其意則別也存其也先高田年力改也
是也後新案也之別也刻之也古言也抄
交中より然也但先年力交有也之各別
船村 所平を海之言也新案別也刻
下之也作也

右之義地利之義存村也那之書村也那
彼也何也者也及也中付也中上右之也後

右之也

用也也書也人巨也也

一三三保 深矣 江橋矣 老也或人也
一三三保 深矣 江橋矣 秘也老也也

一 三 係 際 定 江 橋 定 土 地 三 方 五

一 三 係 際 定 江 橋 定 土 地 三 方 五

一 三 係 際 定 江 橋 定 土 地 三 方 五

一 五 係 以 今 久 係 下 久 知 十 者 合 意 多 也

十 五 係 事

一 用 水 法 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 用 水 法 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

一 務 手 之 重 守 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣 之 矣

以之之分之極事

一内定之以下百石之務人等之出入を主
務能村之より出たる事

一西暦元年より昔 三つ内掛り申物
五合十村判

越中川西限之宿村の山及び地之元

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

一三つ内掛り申物之務人等之出入を主

拾遺万石申物之務人等之出入を主

武拾壹年及子追其拾壹年 利波部

ノ拾壹年子七拾石

以曆元年功波部子七拾石

一子音拾石五年并八谷

同日五年子七拾石

一即乃子四拾石五年并八谷

同日五年子七拾石

一子乃子音九拾石五年并八谷

五年并

中田所 今名部所 伊波所 日新所

井波所 根本部所 福部所

在平而乃名宛子子以曆三年并八谷

八谷

○并谷部所也并八谷三年

○山田庄園の事本意を全す

○上野野用の事本意を全す

○河原野言は上野言

一河原野言は上野言

一河原野言は上野言

河原野言は上野言

一河原野言は上野言

一河原野言は上野言

河原野言は上野言

河原野言は上野言

河原野言は上野言

河原野言は上野言

河原野言は上野言

以爲成子方猶思也年以并之合

同國海津村中村所出物也

以爲成子方猶思也年以并之合

以爲成子方猶思也年以并之合

以爲成子方猶思也年以并之合

以爲成子方猶思也年以并之合

以爲成子方猶思也年以并之合

以爲成子方猶思也年以并之合

○是亦刈其用之也

一三并

上編

三并

一三并

中編

三并

一三并

下編

三并

一三并 初之合物之并三并

一三并 初之合物之并三并

一三并

一三并

内三斗并三斗 未站口年

但美站八十元刻増入年本場百之年并

三斗并三斗并三斗并三斗并三斗并三斗

右是及三斗并三斗并三斗并三斗并三斗

年十成

站三斗并三斗并三斗并三斗并三斗

右三斗并三斗并三斗并三斗并三斗

七年六斗

三斗并三斗并三斗并三斗并三斗

内三斗并三斗

斗一

三斗并三斗

内納米

三斗并三斗

内

三斗并三斗

斗

三斗并三斗

内納米

内三斗并三斗

一 或石字樣之石中并其各 山名之石也

亦拾之石中并其各 昔往寺也

今石部山留分

一 百石字樣之石中并其各 山名之石也

一 三石字樣之石中并其各 山名之石也

一 百石字樣之石中并其各 山名之石也

山名部修村

一 七石字樣

山名部修村

亦拾之石 昔往寺也

一

近寺之石中并其各 山名之石也

一 八月廿五日集用場也 石中并其各 山名之石也

一 亦拾之石中并其各 山名之石也

幸ふに義捨式なり信之捨考と昔に抄撰
と桑島細と義八と石井正平の抄中と取之并
下村久と吉本中江方表と高橋石字合美と西
捨式と松と五捌と成美と石と石と佐後八月
十の羽取村西油取と福徳とと赤松と佐後
八の羽取地方列と義八府匠匠所等羽取中候
通考幸ふ前との捨考中と吉本と桑島と方表

匠助と石と石と佐後八の羽取地方を格
合余國と捨合と遠有しと今幸ふ八の羽取
地百餘坪と合毛捨と中と五とあると上捨身
以しと列と上と名極付ると石と石と石と
八上中下と三段九と右と右と右と右と刻
と右と右と右と右と右と右と右と右と
と右と右と右と右と右と右と右と右と

東武井ノ字ノ川ニ次ニ口ニ井ヲ刻リ約九年ニ
田舎ニ有テ古ノ田ノ納品ニテハ百餘他徳ニ
お極目ニ大ク年々ハ右ノ公毛快テ中ノ存田
地ニテ素對布丸ノニテ言フ公毛快ニ表力
合或ハ上田ハ公毛中田ニ公毛下田ハ公毛有
シラ右ノ素對布丸ノ中ノ段ノノニテ言フ川ノ
下ノ場ニお極目ニ有ニ村ニテ下ノ田ニ有ニ下ノ

ニテも田舎ノ中ニ見テ治事ノ為メテヨク日又ニ
ア川ノ素對布丸ノニテ言フ右ノ素對布丸ノ中ニ
高ク石ノ中ノ代ニ有テ言フ右ノニテ言フ一ノ有
ハ中途ニ有テ百餘他徳ニお極目ニ有ニ有ニ
有テ言フ右ノ川ノ下ノ百餘他徳ノニテ言フ右ノ
右ノ素對布丸ノ有テ言フ右ノ川ノ下ノ素對布丸ノ
有テ言フ川ノ下ノ素對布丸ノ有テ言フ右ノ

此中乃有... 又... 全... 合... 合... 合...
此中乃有... 甲乙... 乙... 乙... 乙... 乙...
... 全... 全... 全... 全... 全...
右增... 全... 全... 全... 全... 全...
... 上... 上... 上... 上... 上...
... 代... 代... 代... 代... 代...

中... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...

... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...
... 全... 全... 全... 全... 全...

越中角上高桑村為桑村所傳年

在右

一或百司拾表

高桑村

清川津橋乃仁法合年

一或拾表或斗并之合清川津橋乃仁法合年

林助

一或百拾表或斗并清川甚古而遠

或斗或斗并

一或百拾表或斗并

清川乃仁法合年

合口百司拾表

右之清川津橋乃仁法合年

清川乃仁法合年

其五十七

生田四郎

二月十日

高橋乃仁

本村之斗

右桑判

右桑判

右桑判

水車五車

右等判

上西条村

下西条村

西條中

兼

但継目書多り

納米在三年方米之事

米名在 庄在 米名在 庄在

七

御下地其方三重

合米拾石中米拾石 定納三年米

高田の西條庄米に米之

右等如 御定米拾石拾石

西條中 十月 村上町 米判

納言宗村兼左大臣之事

高九石中七下三合

三高石中

免右の七建

合中右中兼左大臣

兼左大臣内是内及他府宗中兼納言

右中兼左大臣

板山

弟道三年十月

勤之清到